【別添２】（様式例２）

令和４年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校　学校番号　８

Ⅰ　自己評価

1　学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
2　スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	・主体的に多様な人々と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 ・心身の錬磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組み、地域社会の発展に貢献できる生徒	・生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 ・基本的生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸長し、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施	・基本的な生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 ・進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組み、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 ・部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲ある生徒

3　評価する領域・分野	◇第３学年
4　現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・家庭との連携では「本校からの連絡文書は、保護者に届けている」生87.9%→90.7%，保65.2％→77.9％、「通信やホームページ、一斉配信メールで、速やかに伝えている」生86.1％→89.3%，保65.2→79.2％と生徒と保護者の意識の違いが若干あるものの昨年度よりは数値が改善しておりかつポイントアップの傾向となり、昨年度よりコロナ下での影響は少なくなっていると考えられる。 ・進路指導については「具体的な進路指導が行われている」生80.5％→90.0％であるが、「保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」保54.0％→78.3％となっており、特に保護者に対する情報提供は改善の傾向が見られ、担任及び進路指導部からの情報がよく本人及び保護者に伝わるようになってきた。
5　今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇進路意識を高め、進路実現に向け意欲的に取り組む。 ◇社会の一員として自らの行動に責任を持ち、生徒一人一人にあった自立を目指す。 ◇社会で通用するルールやマナーを身につける。
6　重点目標を達成するための校内における組織体制	・学年団の連携 ・進路指導部との連携指導 ・生徒指導部（教育相談含む）との連携指導 ・学科・コース・系列との連携指導

7　目標の達成に必要な具体的な取組	8　達成度の判断・判定基準あるいは指標
（１）就職・進学ガイダンス （２）就職・進学希望者面接練習 （３）卒業発表会に向けての取り組み （４）一般常識テスト及びドリル	（１）就職・進学希望者全員の進路決定 （２）学校行事での生徒の様子 （３）常識テスト・定期考査・成績・出欠状況 （４）生徒の意識・行動

9　取組状況・実践内容等	10　評価視点	11　評価
・学年集会の実施 ・身だしなみ指導の実施 ・一般常識テストの実施 ・紫翠祭や球技大会への取り組み ・卒業発表会への準備	①生徒の進路を実現するため学年団と進路指導部が連携を取りながら指導できたか。	A　(B)　C　D
	②学校行事や卒業発表会に向けて主体的に取り組む姿勢を指導できたか。	A　(B)　C　D
	③卒業に向け生徒の意識向上が図れているか。	A　B　(C)　D

12 成果・課題		総合評価
	○生徒の進路希望に対して、進路指導部、学科やコース・系列と連携をとりながら生徒の興味関心及び個々の持ち味を生かした進路実現に取り組ませた。 ○学校行事や卒業発表会に向けて主体的に取り組む姿勢を指導できた。 ▲進路決定以降および冬季の遅刻が増え、社会的に未熟な部分が残り、卒業する学年としての意識を十分に指導できなかった。	A　(B)　C　D

13　来年度に向けての改善方策案
・就職や進学試験で不合格となった生徒および進路未決定の生徒に対する指導を進路指導部と連携し進路決定につなげていくことが必要である。
・生徒の家庭状況・体調なども踏まえて遅刻・欠席防止に努めることが必要である。
・学校行事及び卒業発表会などでの活躍の場を利用し、生徒の達成感につなげる。

Ⅱ　学校関係者評価

実施年月日：令和　年　月　日

【意見・要望・評価等】
・
・
・
・